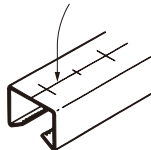


中心線をいれたワールドダクター®とダクターレンチ

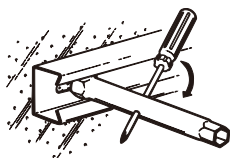
- ◎ ネグロスのワールドダクター(D-1・D-2)をご愛用下さっているあるお客様から次のような提案のおてがみがありました。
- ◎ 『現在市販されているワールドダクターの裏側には、5センチごとの細い横線があって、切断のための寸法目安として大へん便利なのですが、もう一本縦の線をいれてほしいのです。』
- ◎ その理由は、ワールドダクター取付時のビス、ナットのバカ穴をあけるときの芯出しの手間を省くためです。横方向は何本も並べてできますが、縦方向は一本ずつしかできないので手間がかかります。これがあれば大へん助かるのでいれて下さい。』
- ◎ ご提案のとおり、効果もあり大へん使いやすいダクターになるので、早速採用させて頂き、すでに中心線をいれたものが出荷されています。在来品在庫のため一部遅れている地域もあります。
- ◎ もう一つのアイデアとしてのダクターレンチは、当社技術部の社員が工事現場回りのとき、電気さんがパイプの切れ端を加工して使用しているのを見て、これをもっと使い易い商品としたらお役に立つのではないかと考えて製品化したものです。一部の小型ダクターを除いて殆んど大部分のダクターに使用できます。

横線のほか中心線もいれたワールドダクター

中心線をつけました



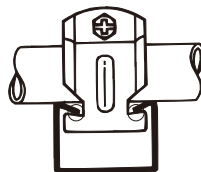
ダクターレンチの使用法



ワールドダクター®とレースウェイ

- ◎ ネグロスのワールドダクターは、本体、クリップ、吊り金具類を組み合わせ、電線管、丸型ケーブルなどを支持する配管支持金具です。また、ダクトやケーブルラックの支持材としても巾の広い用途があります。
- ◎ ワールドダクター本体D-1・D-2は、レースウェイと同じ規格で長さが短かいだけですが、第二種金属製線びではありませんので、その目的のためには、ネグロスのレースウェイDP-1・DP-2をお使い下さい。
- ◎ レースウェイDP-1・DP-2が4メートルのものであるのに対して、ワールドダクターD-1・D-2は2.5メートルものになっています。また、レースウェイには、現品に認可番号がついており、溶融亜鉛めっき鋼板の上にクリアー塗装がしてありますが、ワールドダクターには、それがありません。
- ◎ その代り、ワールドダクターには、この本文にのっている中心線と切断のための寸法目安にする横線のほかに、もう一つの特長があります。それは、エッジの内側につけたギザギザです。
- ◎ このギザギザは、クリップを確実に固定して振動に対しても移動しないよう、クリップの爪にくいこむように工夫されています。他社のダクターの中には、当社製品と同様の断面形状で、しかもギザギザまでつけているが、クリップの固定には全く役立たないものもあるので、電気設備の安全のため、十分ご注意ください。

ダクタークリップの爪のくいこみ方



ダクターの内側エッジのギザギザの位置形状の違い

左A図 他社品 右B図 ネグロス

